

平成23年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(平成22年度対象)

平成23年9月

高梁市教育委員会

目次

第1章 はじめに

- 1 制度の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 点検・評価の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 点検・評価に関する有識者について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第2章 教育委員会の活動状況

- 1 教育委員の選任状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 2 教育委員会議の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 教育委員会審議案件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 4 その他主な活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

第3章 教育委員会事務局の行政組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

第4章 教育委員会事務局の事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

第5章 教育委員会の基本方針と重点施策

- 1 平成22年度基本方針及び重点施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 2 教育行政重点施策の体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

第6章 教育行政重点施策の点検及び評価の結果

- 1 点検及び評価結果の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 2 点検及び評価の結果
 - I 心身ともにたくましい子どもが育つ学校教育を進めます・・・・・・・・ 11
 - II 生涯学習の機会の拡充と人権尊重意識の育成を進めます・・・・・・・・ 21
 - III 地域の伝統や文化を維持向上します・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
 - IV スポーツの振興を図ります・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

1 制度の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の一部改正により、平成20年4月からすべての教育委員会が、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、市民へ公表することになりました。

高梁市教育委員会では、地教行法の規定に基づき、今後の効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民の皆さまへの説明責任を果たすことを目的として、平成22年度に重点的に取り組んだ事業について点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

《参考》 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の方法

高梁市教育委員会では、毎年度教育行政の基本方針やその年度の重点的に取り組むべき施策として「教育行政重点施策」を定めています。この重点施策に基づき行っている事業について、教育委員会が自ら点検・評価を行いました。

3 点検・評価に関する有識者について

点検・評価を実施するにあたり、地教行法第27条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する次の3名の方に、教育委員会が行った点検・評価の結果について、ご意見等をいただきました。

平岡弘正 氏（吉備国際大学社会学部スポーツ社会学科教授）

小倉 浩 氏（社会教育委員会議議長）

柴倉初美 氏（元高梁市立幼稚園長）

第2章 教育委員会の活動状況

1 教育委員の選任状況（平成22年度在籍）

氏名	在任期間又は任期	備考
大内道登	H21.11.16～H25.11.15	H21.11.16～ 委員長
五島章友	H20.11.16～H24.11.15	H21.11.16～ 委員長職務代理者
山下里絵	H19.11.16～H23.11.15	
山内廣子	H21.11.16～H26.11.15	
平田 守	H20.11.16～H24.11.15	H20.11.16～ 教育長

2 教育委員会議の開催状況

教育委員会議については、原則として毎月1回定例会を開催し、また必要に応じて臨時会を開催しています。平成22年度は定例会12回、臨時会を2回開催しました。

3 教育委員会審議案件

地教行法第26条及び高梁市教育委員会事務委任規則の規定に基づき、平成22年度は合計70件について審議しました。

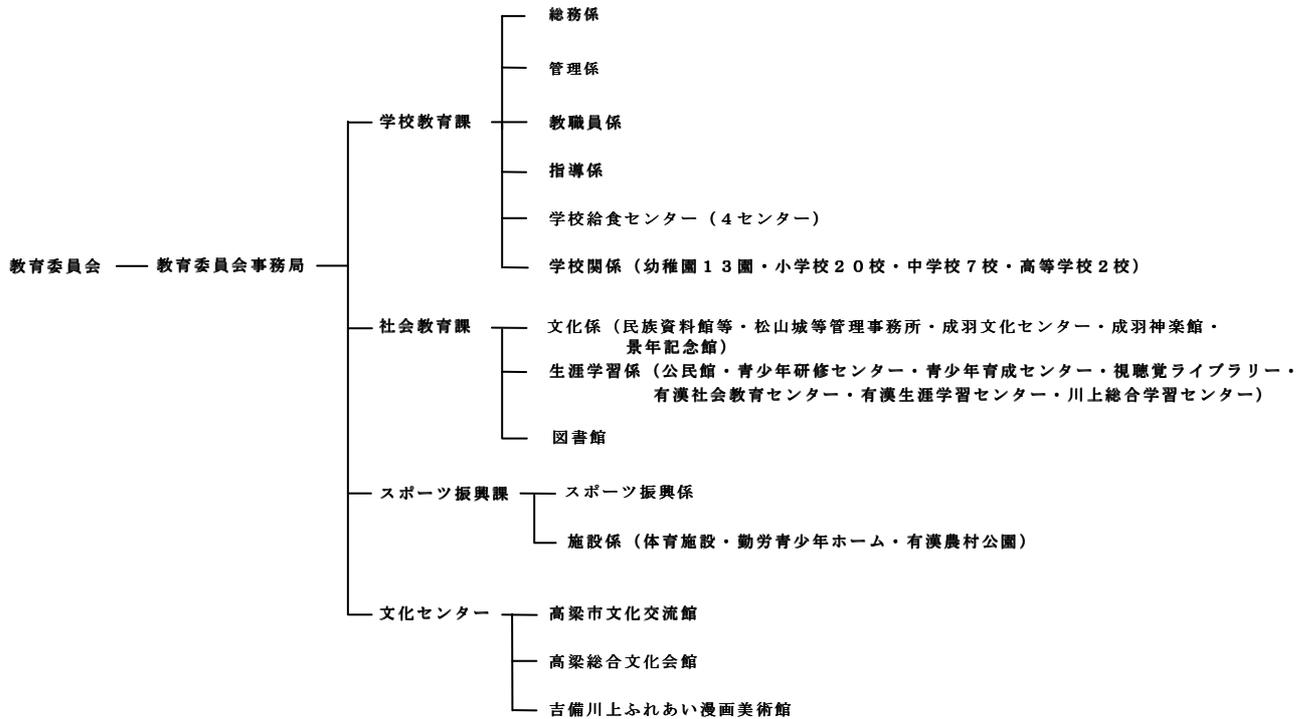
- (1) 教育行政に関する基本的な方針・・・・・・・・・・・・・・・・ 5件
- (2) 教育委員会規則等の制定又は改廃・・・・・・・・・・・・ 22件
- (3) 教育予算その他議会の議決を要する議案に関する事..... 6件
- (4) 職員（教職員を含む）の人事に関する事..... 4件
- (5) 法令又は条例等に定めのある附属機関の委員の委嘱..... 17件
- (6) 教科書の採択に関する事..... 4件
- (7) 通学区域の設定又は変更に関する事..... 8件
- (8) 教育委員会に係る事務の点検及び評価に関する事..... 1件
- (9) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3件

4 その他主な活動状況

年 月	教育委員が出席した活動等
平成22年4月	・ 幼稚園入園式、小・中学校、市立高校入学式
5月	・ 教育施設訪問（幼保2園、市立高校1校、学校給食センター2箇所、文化施設1箇所） ・ 高梁・新見地区教科用図書採択市教育委員会協議会 ・ 市町村教育委員会人権教育連絡会 ・ 岡山シーガルズキャンプ in 高梁
6月	・ 市議会6月定例会 ・ 第25回童謡まつり in 高梁
7月	・ 岡山県市町村教育委員会連絡協議会総会 ・ 高梁・新見地区教科用図書採択市教育委員会協議会
8月	・ 子育てふれあいフェスティバル2010 ・ ドリーム・ベースボール in 高梁
9月	・ 幼稚園、小・中学校、市立高校運動会 ・ 市議会9月定例会
10月	・ 幼稚園、市立高校運動会 ・ 第25回国民文化祭「神楽フェスティバル」、「漫画フェスティバル」（展示）
11月	・ 岡山県市町村教育委員会連絡協議会研修会 ・ 学校訪問（小学校4校） ・ 平成22年度教育委員会表彰表彰式 ・ 第25回国民文化祭「童謡フェスティバル in たかはし」、「漫画フェスティバル」（講演会等）
12月	・ 市議会12月定例会
平成23年1月	・ 成人祝賀式 ・ 『わたしたちが考えた給食献立』試食会への参加（成羽小学校）
2月	・ 第32回愛らぶ高梁ふれあいマラソン ・ V・プレミアリーグ女子バレーボール岡山大会
3月	・ 幼稚園、小・中学校、市立高校卒業式 ・ 市議会3月定例会

第3章 教育委員会事務局の行政組織（平成22年4月1日）

（組織図）



第4章 教育委員会事務局の事務分掌（平成22年4月1日）

学校教育課

総務係

- (1) 課内の庶務に関する事。
- (2) 教育委員会の会議及び教育委員の報酬等に関する事。
- (3) 請願及び陳情に関する事。
- (4) 儀式表彰に関する事。
- (5) 条例、規則その他例規及び公告式に関する事。
- (6) 事務局職員及び教育機関職員(校長、教員を除く。)の人事、給与及び福利厚生等に関する事。
- (7) 文書の受発及び広報に関する事。
- (8) 事務局の物品に関する事。
- (9) 学校の経理事務指導に関する事。
- (10) 公印の保管に関する事。
- (11) 事務引継に関する事。

- (12) 各課の連絡調整に関する事。
- (13) 他の課及び課内の他係に属さない事。
- (14) 寄付採納に関する事。
- (15) 奨学金に関する事。

管理係

- (1) 学校の用地、建物等に係る取得及び処分に関する事。
- (2) 学校の用地、建物等に係る維持管理に関する事。
- (3) 学校に係る物品に関する事。
- (4) 学校に係る施設台帳に関する事。
- (5) 教員住宅に関する事。
- (6) 諸契約に関する事。

教職員係

- (1) 教育職員の人事及び福利厚生に関する事。
- (2) 学級編制に関する事。
- (3) 教育職員の免状及び履歴書整備に関する事。
- (4) 学齡児童及び生徒の就学事務に関する事。
- (5) 園児及び児童生徒の就学援助並びに保育料に関する事。
- (6) 通学区域の設定及び変更に関する事。
- (7) 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱に関する事。
- (8) 学校諸帳簿の整備監督に関する事。
- (9) 教育職員及び児童生徒の身体検査及び福利厚生に関する事。
- (10) スクールバスに関する事。
- (11) その他学校教育に関する事。

指導係

- (1) 学校給食に関する事。
- (2) 教科内容及びその取扱いに関する事。
- (3) 学校教育についての指導及び助言に関する事。
- (4) 教科用図書の採択に関する事。
- (5) 教育方法の改善に関する事。
- (6) 教育研修及び職員講習会に関する事。
- (7) 教育資料の記録収集及び保存に関する事。
- (8) 学校の環境衛生に関する事。
- (9) 教育職員及び児童生徒の保健に関する事。
- (10) 園児の預かり保育に関する事。
- (11) 教育相談事業に関する事。
- (12) やすらぎ教室に関する事。
- (13) 幼保一元化の調整に関する事。

社会教育課

文化係

- (1) 文化芸術の振興に関する事。
- (2) 文化団体の指導育成に関する事。
- (3) 文化施設に関する事。
- (4) 文化財の保護及び活用に関する事。
- (5) 天然記念物の保護管理に関する事。
- (6) 伝統的建造物群保存地区に関する事。
- (7) 民俗芸能の伝承に関する事。
- (8) 国民文化祭の開催に関する事。

生涯学習係

- (1) 課内の庶務に関する事。
- (2) 社会教育、生涯学習の推進に関する事。
- (3) 生涯学習施設及び社会教育関係施設に関する事。
- (4) 社会教育委員に関する事。
- (5) 成人教育、青少年教育及び家庭教育に関する事。
- (6) 人権教育に関する事。
- (7) 視聴覚教育に関する事。
- (8) 生涯学習関係機関、団体との連絡調整及び指導育成に関する事。
- (9) 児童、青少年の健全育成に関する事。
- (10) 課内の他係に属さない事。

スポーツ振興課

スポーツ振興係

- (1) 課内の庶務に関する事。
- (2) スポーツ振興審議会に関する事。
- (3) 体育諸団体との連絡調整及び指導育成に関する事。
- (4) 市民体育に関する事。
- (5) 生涯スポーツに関する事。
- (6) 競技スポーツに関する事。
- (7) レクリエーション活動に関する事。
- (8) 体育指導委員に関する事。
- (9) 課内の他係に属さない事。

施設係

- (1) 体育施設の整備計画に関する事。
- (2) 体育施設の利用、管理運営に関する事。
- (3) 高梁市都市公園条例(平成16年条例第253号)第9条別表2に定める施設の利用、管理運営に関する事。

文化センター

- (1) 文化センター内の庶務に関すること。
- (2) 文化交流館、高梁総合文化会館及び吉備川上ふれあい漫画美術館の利用、管理運営に関すること。
- (3) 文化交流館、高梁総合文化会館の運営委員会に関すること。
- (4) 催事の企画及び実施運営に関すること。

1 平成22年度基本方針及び重点施策

社会環境が大きく変化する中で、学校教育をはじめとして、生涯学習やスポーツ、文化芸術活動はますます重要なものとなり、その果たす役割に大きな期待が寄せられています。

特に、本市においては、教育関係の全ての分野において、こうした変化に適切に対応し、生涯にわたり心豊かに、たくましく生きていく意欲と、実践力を備えた、新時代を担う人間の育成が最も重要となっています。

平成22年度を初年度とする高梁市新総合計画では、「ひと・まち・自然にやさしい高梁」を将来の都市像とし、その実現のため「人の知恵とふるさとへの思いを活かしたまちづくり」「新たな発想や積極的に挑戦する姿勢を大切にすまちづくり」「自助・互助・公助を基本にした協働と連携のまちづくり」を基本理念として諸施策を推進することとしています。この基本理念に基づき、高梁市教育委員会は平成22年度において、学校教育、家庭や地域社会の教育、スポーツや、それぞれの地域の特色ある文化芸術活動の活性化など、生涯学習社会の実現に取り組むため、「地域文化と心豊かな人を育むまち」を基本方針とし、次の4項目を基本目標として総合的な取組をします。

- 1 心身ともにたくましい子どもが育つ学校教育を進めます
- 2 生涯学習の機会の拡充と人権尊重意識の育成を進めます
- 3 地域の伝統や文化を維持向上します
- 4 スポーツの振興を図ります

子どもたちが、自ら学び、自ら考える力や、豊かな人間性など、「生きる力」を育む学校づくりのために、子ども一人ひとりを大切にし、基礎・基本の確実な定着を図るなど、人格の完成をめざした取組を進めます。

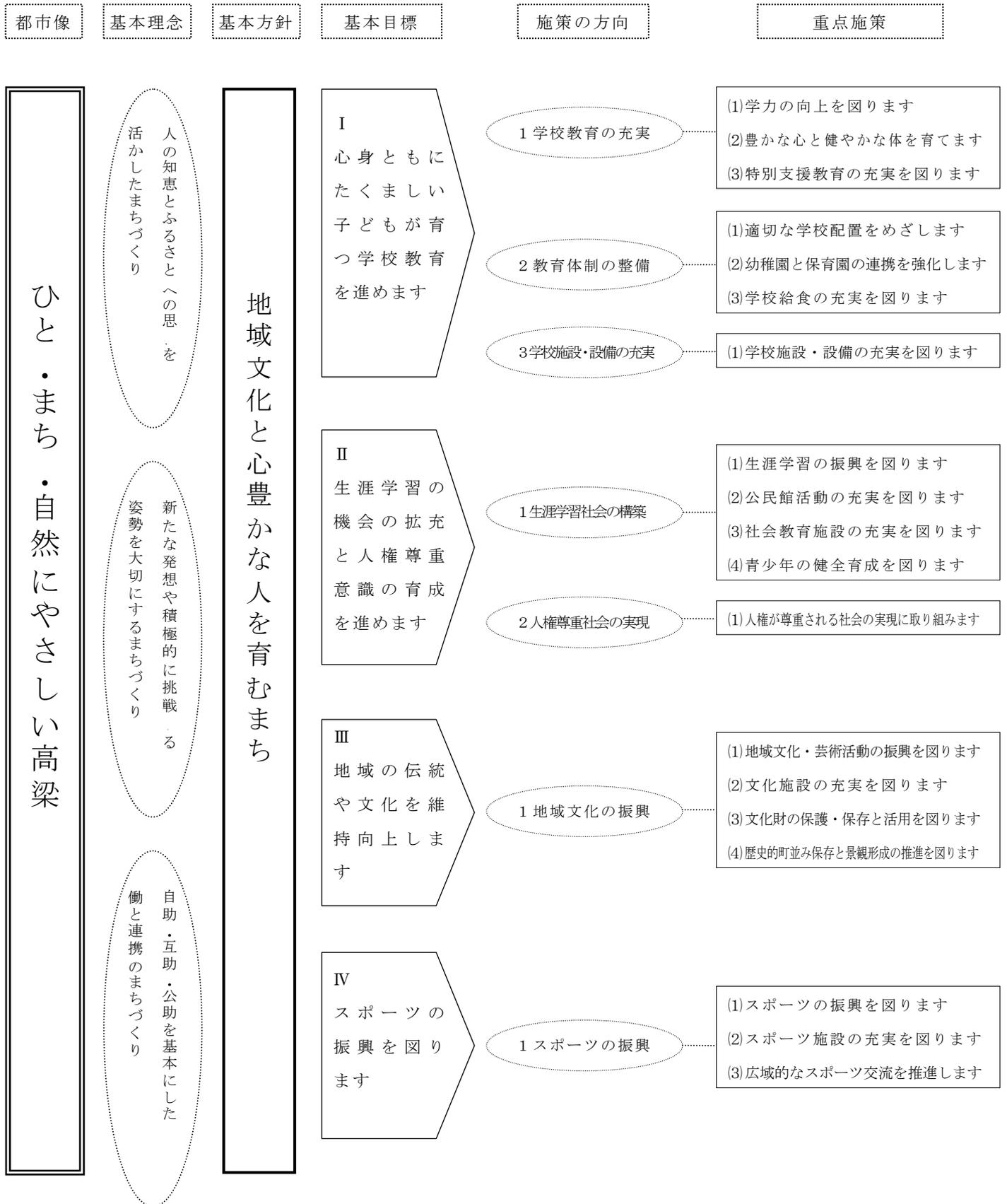
また、生涯にわたって主体的に学習できる生涯学習社会の実現をめざし、公民館活動の積極的な展開を図りながら、体系的・効果的な支援と推進を図ります。

文化行政では、本年度開催の「第25回国民文化祭・おかやま2010」の成功に向けて、市民総参加の文化祭として、全国から本市に來訪される方々に「おもてなし」の心で接し、高梁を全国に発信する絶好の機会として取り組みます。また、備中松山城や吹屋伝建地域など、地域固有の歴史遺産や伝統文化の保護・保存とその活用を進めるとともに、地域の文化芸術活動の振興に取り組めます。

さらに学校教育の充実のため、学校・家庭・地域及び関係機関等との連携を密にし、ながら、教育環境と教育効果の向上をめざします。また、スポーツ振興計画を基に、いつでも・どこでも・気軽にスポーツができる環境の充実に努めます。

これらの諸施策の推進にあたっては、情報発信を積極的に行い、関係機関や教育団体などとの連携を一層緊密にし、広く市民の理解、協力を得ながら、教育行政推進のため積極的に取り組みます。

2 教育行政重点施策の体系



1 点検及び評価結果の構成

教育委員会では、毎年度教育行政の基本方針やその年度の重点的に取り組むべき施策として「教育行政重点施策」を定めています。この重点施策に基づき行っている事業を平成22年度に実施すべき事業目標と位置づけ、この実施状況について教育委員会が自ら点検・評価を行いました。

○点検評価結果表の項目について

「事業名」・・・「教育行政重点施策」の施策毎に掲げている事業を記載しています。

「事業実施目標」・・・平成22年度の実施すべき具体的事業内容や目標を記載しています。

「評価」・・・計画目標に対して、取組みの進捗状況等ふまえ、客観的にA～Eの5段階で内部評価を行いました。評価基準は次のとおりとしています。

A・・・十分な成果を得た

B・・・概ね満足な成果を得た

C・・・ある程度の成果を得たが、多少の改善検討が必要

D・・・満足のいく成果は得られず、事業の見直しが必要

E・・・事業の中止、廃止

「成果・課題等」・・・平成22年度に実際に実施した事業の成果・課題等を記載しています。

「学識経験者の意見」・・・教育委員会が行った点検・評価の結果について、地教行法第27条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する3名の方に意見等をいただきました。

2 点検及び評価の結果

I 「心身ともにたくましい子どもが育つ学校教育を進めます」

1 学校教育の充実

(1) 学力の向上を図ります

○施策の方向

- ・子ども一人ひとりを大切にしたいきめ細かな指導により、確かな学力の向上をめざします。
- ・教員の授業研修を充実させ、授業力を向上させるとともに学力・学習状況改善プラン¹への取り組みを充実させることにより、学力の向上を図ります。
- ・少人数指導や個々に応じたきめ細かな指導を充実させ、基礎学力の定着を図るとともに学習意欲を高め、主体的に学習に取り組む力を育てます。
- ・学校図書館の充実や学校図書館司書と家庭・地域との連携を進め、読み聞かせ活動や読書活動の充実を図り、学力の基礎となる読む力や考える力を育てます。

事業名	事業実施目標	評価	成果・課題等
学力の向上をめざした取組 【学校教育課】	全国学力・学習状況調査により児童生徒の学力の実態を把握するとともに、各校の学力・学習状況改善プランの推進を計画訪問並びに要請訪問等により支援する。	C	市内全小・中学校において、学力・学習状況改善プランの推進を図るため計画訪問・要請訪問等で支援し、検証を行った。また、小・中学校の研究主任を対象とした学力向上に向けた研修会を開催した。改善プランの内容がP D C Aサイクル ² の上でより具体的なものになるよう継続的に推進並びに支援していく必要がある。
研究指定校園における研究推進事業 【学校教育課】	研究指定による授業研究を通じて、指導法の工夫改善を図るとともに、子どもたちの学習意欲の向上を図る。 ・学力向上実践校事業（落合小・高梁中学校区） ・幼稚園教育課程研究園（川面幼） ・小中連携外国語活動・英語（有漢中学校区）	B	研究指定に伴い、各校で校内研修や研修授業（公開授業）を積極的に行い、授業改善に取り組むことができた。 ・学力向上実践校事業では、言語活動をテーマに高梁中学校区の小・中学校で15回の研究授業を実践し、研究のまとめを12月の県学力向上実践校事業のフォーラムで発表した。 ・幼稚園教育課程研究では、幼児の育ちの課程に視点をあて、主体的に活動できる幼児の育成を研究主題とし研究に取り組んだ。

¹ 各校で学力・学習状況の改善に向けて取り組んでいる年次計画。

² 計画(Plan)を実行(Do)し、評価(Check)して改善(Act)に結びつけ、その結果を次の計画に活かすプロセスのこと。

			・有漢中学校区では、外国語活動・英語の授業公開を通して、小中連携を推進することができた。
指導と評価の一体化による個に応じた指導の充実 【学校教育課】	習熟度別少数指導等により、一人ひとりの児童生徒に応じたきめ細かな指導を行い、基礎基本の確実な定着と主体的な学習態度を育成する。	C	個に応じたきめ細かな指導と、単元によっては習熟度別指導が実施できたが、指導内容・指導方法についてはさらに検討が必要である。
読書環境の整備・充実 【学校教育課】	①「個性的教育を推進する地区・校」 (川上中学校区) 幼稚園・小学校・中学校の連携のもとに、学校と家庭・地域が連携し、子どもたちの読書活動を推進する。	A	「読書活動で育てる川上っ子の心と言葉」を研究テーマに掲げ、幼・小・中・家庭・地域が連携して読書活動の充実を図り、豊かな心や言葉を培った。読書好きな子どもが増え、読書量も増加し、大きな成果をあげた。
	②学校図書館司書の配置拡充(8名→9名) 学校図書館司書の配置により、学校図書館の充実を図るとともに、子どもたちが進んで読書活動ができるよう支援する。	B	図書館司書配置の拡充ができ、計画的に各中学校区の小中学校で司書が勤務できるようになった。このことにより、専門的な立場で読書環境の整備・読書指導が可能になった。
	③中学校図書整備事業 学校教育振興基金の活用により、3年計画(H23年度まで)で中学校図書の充実を図る。	B	中学校図書整備事業として、平成22年度予算350万円で各中学校へ図書を購入し、図書の充実を図ることができた。
外国語活動の推進・充実 【学校教育課】	新学習指導要領の完全実施に対応し、児童生徒に国際理解の基礎を培い、英語によるコミュニケーション能力を育成するため、7名の外国語指導助手を配置し、小学校、中学校、高等学校の英語教育の充実を図る。	B	児童生徒は、ネイティブスピーカー ³ のALTから外国語の音声や基本的な表現を学ぶことで、外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験することができている。特に小学校高学年では、導入された外国語活動を担任だけではなく、ALTの指導により効果的に進められている。
ICT活用の推進事業 【学校教育課】	学習活動における児童生徒や教師のICT ⁴ の活用を支援し、情報活用能力を高める。 ・ICT活用研究(富家小)	B	教職員のICT活用指導力向上をめざした研究指定校の実践や公開授業が、各校でのICT機器の活用場面の提案となり、児童生徒の学習活動の充実や教職員のICT機器活用への意欲喚起へとつながった。

³ ある言語を母国語として話す人。高梁市では、英語を母国語として話す人をALTとして各校に派遣している。

⁴ 情報(information)や通信(communication)に関する技術の総称。ICT教育とは、「情報技術を用いて学習者に対しコミュニケーション環境を提供しようとする教育」のこと。

		児童生徒のICTを活用した情報活用能力の育成については、ICT機器利用の能力と情報の活用能力の各々の育成も必要であり、効果的な育成については今後の課題である。
--	--	---

(2) 豊かな心と健やかな体を育てます

○施策の方向

- ・人とのかかわり、自然に直接触れて学ぶ体験活動等の充実を図ることにより、子どもたちの豊かな心を育てます。
- ・地域人材の活用と地域の歴史・伝統・文化の学習、体験活動等、特色ある教育活動を推進します。
- ・学校と家庭が連携し、子どもの基本的な生活習慣の育成と食育に積極的に取り組み、健やかな体を育てます。
- ・学校と家庭・地域が生徒指導における連携・協力を強化し、地域ぐるみで子どもの規範意識を高め、いじめや問題行動等への対応や不登校への支援に取り組む体制をつくります。
- ・学校評価と学校評議員制度を充実させ、開かれた学校づくりを推進することにより、学校改善を図ります。

事業名	事業実施目標	評価	成果・課題等
特色ある学校づくり事業 【学校教育課】	地域の人材・資源を活用した特色ある学校づくりを意図的・計画的に推進することにより、ふるさとを愛し、心豊かな子どもを育成する。	B	各校・園が地域人材を活用し積極的な取り組みを展開している。体験活動だけではなく、通常の学習活動での活用も図られてきた。地域の方からも幼児・児童・生徒との交流を楽しみにしているという声が聞かれ、双方にとって有効であり効果をあげている。
芸術鑑賞推進事業 【学校教育課】	演劇や器楽演奏等の優秀な芸術に直接触れることにより、子どもたちの豊かな情操を培うとともに豊かな感受性を養う。	B	演劇やコンサートなどに直接ふれることにより、感動的な体験をしている。
職場体験活動・チャレンジワーク14の実施 【学校教育課】	中学生が直接地域の事業所に向き、実際の仕事を体験することにより、正しい勤労観を養うとともに将来の自己の生き方について考える契機とすることを目的とし、全中学校で実施する。	B	計画どおりに実施。職場体験活動を通して望ましい職業観や勤労観を持ち、将来の生き方を考え、働くことや学ぶことへの意欲の向上等の効果が見られた。文科省の求める5日間程度の実施日数の確保や受入新規事業所の開拓が課題である。

<p>子ども議会（中学生）の開催</p> <p>【企画課・学校教育課】</p>	<p>高梁市の将来を担う子どもたちが、自己の夢や希望を発言する機会をもつことによって、地方自治への関心やまちづくりに参加しようとする契機とすることをねらいとして子ども議会を開催する。</p>	<p>A</p>	<p>中学生が、自分の市の姿をよく見つめ、快適で住みよいまちをつくるため、積極的に高梁市の将来に向けての考えを述べる事ができた。7中学校の代表生徒が協力して開催することで、生徒の交流が深まった。</p>
<p>地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業</p> <p>【学校教育課】</p>	<p>子どもたちが安全かつ安心して教育が受けられるよう、学校や通学路における安全確保を図る。また、防犯教室・訓練等を通じて子どもたちの危機管理能力を高める。</p>	<p>A</p>	<p>スクールガードリーダー⁵が学期に1回、市内の全校を訪問し、登下校時の安全指導や地域安全マップ作りの指導を行った。また、教職員を対象に不審者侵入時の対応訓練も実施した。今後も継続して安全教育の推進を図る必要がある。</p>
<p>問題を抱える子ども等の自立支援事業</p> <p>【学校教育課】</p>	<p>学校不適應の児童生徒に、体験活動や学習サポートの場を提供することにより、学校復帰に向けた支援を行う。また、該当児童生徒の保護者からの相談にも応じ、学校不適應児童生徒の学校復帰や社会的自立に向けての支援の充実を図る。</p>	<p>B</p>	<p>学校不適應の児童生徒に体験活動や学習サポートの場を提供し、学校復帰に向けて一定の成果をあげている。</p> <p>・相談件数 平成21年度 87件 平成22年度 65件</p>
<p>学校ふれあい促進事業</p> <p>【学校教育課】</p>	<p>不登校等の諸問題の解決を図るため、教育相談体制を充実し、学校・保護者・幼児・児童・生徒に対し、臨床心理士等の専門家からコンサルテーションを受ける機会を提供し、問題の解決にあたる。</p>	<p>B</p>	<p>臨床心理士等、心の専門家を学校に派遣することで、不登校等、生徒指導上の諸問題について適切な対応のアセスメント⁶を得ることができた。</p> <p>・派遣日数 平成21年度 28日 平成22年度 16日</p>
<p>スクールサポーター配置事業</p> <p>【学校教育課】</p>	<p>いじめや不登校等の問題行動に積極的に関わるのできる相談員を配置し、児童生徒の心の安定を図り、問題行動の未然防止や解決をめざす。</p>	<p>B</p>	<p>不登校傾向を呈し、別室登校の児童生徒に対し、スクールサポーター⁷が心情を受け止め、安心感を与えることで、自分の気持ちの整理をしたり、情緒の安定を図ることができた。</p> <p>・配置校 高梁中学校、高梁東中学校、落合小学校</p>

⁵ 学校防犯に関わる保護者や地域の方々、学校に対して、よりよい防犯活動を行うための指導・援助・評価を専門の立場で行う人。防犯の専門家（警察官 OB、民間警備会社等）。

⁶ ある事象を客観的に評価することを言う。

⁷ いじめや不登校など生徒指導上の課題を抱える子どもたちの身近な話し相手、授業中の校内巡回指導など生徒指導のサポートをする職員。

(3) 特別支援教育の充実を図ります

○施策の方向

- ・校内体制を整え、「個別の教育支援計画」に基づき、一人ひとりに応じた適切な指導を充実させます。
- ・特別支援教育支援員を適正に配置し、指導を充実させます。
- ・相談活動を充実させ、障害のある子どもへの適切な支援や就学指導を図ります。
- ・関係機関との連携をいっそう進め、障害のある子どもの自立や社会参加に向けた継続した支援を充実させます。

事業名	事業実施目標	評価	成果・課題等
特別支援教育推進事業 【学校教育課】	①特別支援教育支援員 ⁸ 配置事業 個別に特別な支援を必要とする 幼児・児童・生徒に対応するため、 特別支援教育支援員を配置し、学習 活動の支援や自立に向けた指導の 充実をめざす。(15名配置)	B	幼稚園6園、小学校8校、中学校1校 に、特別教育支援員を配置した。また、 支援員の研修会を夏季休業中等に3日間 行い資質の向上を図った。学校によっ ては、複数の支援員が必要なところも あり支援員配置の要請が増えている。
	②特別支援教育巡回相談事業 発達障害についての専門家を学 校園に派遣し、LD ⁹ 、ADHD ¹⁰ 、 自閉症等の幼児・児童・生徒に対 して適切な支援を行う。	C	学校園からの要望により発達障害等 の専門家を派遣し、校内の体制づく りや指導に関する助言を得た。年間 を通して継続した相談の体制を検討 する必要がある。 ・派遣日数 平成21年度 4日 平成22年度 1日

⁸ 教育上特別な支援が必要な児童・生徒の日常生活の介助や学習活動のサポートを行う職員。

⁹ 「Learning Disabilities(学習障害)」の略。基本的には知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算するまたは推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指す。

¹⁰ 「Attention-Deficit / Hyperactivity Disorder(注意欠陥/多動性障害)」の略。年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、およびまたは衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものである。また、7歳以前に現れ、その状態が継続し、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。

学識経験者の意見

- 学力向上改善プランを各学校で作られているが、数値的な目標を入れてはどうか。例えば低学年であれば、かけ算九九は全員ができるようになるとか、学力向上に向けての具体的な目標をたてていかないと、実践的な意欲がわかないのではないか。また、先生、保護者も目標達成に向けての厳しさが出てくるのではないか。児童生徒に刺激を与えるようなプランを作らないといけない。
- 学力向上には、基盤となる生活態度が重要である。話をよく聞く習慣づけとか、家庭学習の時間を増やしていくとか、テレビを見る時間を減らしていくなど生活態度をよくすることで、学習のしやすいような気持ちにもっていき、まわりの環境を整えば、学習へ取り組む意欲も増してくる。生活習慣と学力向上との関わりはあり、学校や家庭で取り組みはされていると思うが、さらに重点的に必要である。学力と人間性は両輪で成長しなければならない。
- 教員の研究主任を対象に学力向上に向けた研修会はよい取り組みをしている。ただ、研修会へ参加した教員から他の教員へ研修の内容が伝わっているかどうか。報告書のみですませているところもあれば、報告会を開いて研修している学校もある。学校で工夫すれば、全員へ浸透するやり方もあるのではないか。全教員が共有することが大切で、一部の教員の研修になってはいけない。
- 中学生が職場体験をしているが、非常によい経験をしている。これを期に、社会人・職業人として自立していくことができるように幼稚園の時期からそれぞれの段階ごとに、キャリア教育に取り組んでいったらどうか。
- 特別支援が必要な子どもたちも、将来に向けて、次につながる職場体験を行ってはどうか。
- 学力が低下している現状で、学力の向上や特別支援教育の充実などを重点としているところは非常によい。特別支援教育の充実では、支援員の増員や研修会の実施などで子どもたちが安心して学校生活を送れるような取り組みをしている。一人ひとりの子どもについて、他機関との連携が図られていて、支援の方法を共有することで、指導の成果が得られている。昨年度の意見の中で加配されている支援員や臨時職員の方の指導力の向上といったことがあがっていたが、研修機会が増えたことでさらに成果が得られていると思う。
- 新学習指導要領に伴い、英語教育の充実を図られているが、日本語にも一層重点をおくべきである。

2 教育体制の整備

(1) 適切な学校配置をめざします

○施策の方向

- ・今後の幼児・児童・生徒数の推移を踏まえ、子どもたちの能力を最大限に伸ばすことができる学級・学校規模を考慮し、統廃合も含めて適切な学校配置を進めます。

事業名	事業実施目標	評価	成果・課題等
小規模校再編事業 【学校教育課】	今後の幼児・児童・生徒数の推移を踏まえながら子どもたちが自己の可能性を最大限に発揮できるよう、統廃合を含めた適切な学校配置を進める。	B	学校教育本来の機能が十分発揮できるよう適切な学校配置とするため、小規模校の保護者、地域住民との協議を計16回実施した。布寄小学校、吹屋小学校にあっては、平成23年度末閉校を平成23年3月議会へ上程し、議決された。今後も子どもたちにとって、より良い教育環境を考え、保護者や地域住民との意見交換を進める必要がある。

(2) 幼稚園と保育園の連携を強化します

○施策の方向

- ・就学前から小学校へと円滑に接続することができるように、保育園、幼稚園、小学校の連携を深めます。
- ・市内全域の保育園と幼稚園の配置を見直し、市民のニーズや地域の特性に応じた就学前教育のあり方を検討します。

事業名	事業実施目標	評価	成果・課題等
幼稚園と保育園の連携強化 【学校教育課】	各中学校区内の生徒指導推進協議会を活用し、保・幼・小・中学校間の連携教育を推進し、子どもたちの基本的な生活習慣の定着を図るとともに、学力向上をめざす。	C	各中学校区での協議会等を活用し、保・幼・小・中の連携を図った。特に小学校への円滑な接続を図るために、幼稚園と保育園の連携が図れるよう年間計画等の見直しを図った。今後も検討する必要がある。
「高梁市における就学前教育のあり方」の検討 【学校教育課】	子ども課と連携し、将来を展望した「望ましい就学前教育・保育のあり方」について、将来的な課題を見据えた総合的な視点での検討を進める。	C	子ども課と連携し、高梁市就学前教育・保育方針検討委員会を立ち上げ検討を行った。年度内のまとめに至らなかった。

(3) 学校給食の充実を図ります

○施策の方向

- ・食育の充実を図るとともに、地産地消の取り組みを進め、地域の食材を活かした献立の充実を図ります。
- ・学校給食センターの再編と施設設備の充実を図ります。

事業名	事業実施目標	評価	成果・課題等
食に関する指導の充実と地産地消推進の取組 【学校教育課】	①食に関する指導 栄養教諭並びに学校栄養職員と担任との連携による食に関する教育の充実を図る。また、「高梁味めぐり」や「わたしたちが考えた共通献立」などの取組により、子どもたちが一層食に関心を持つ契機とする。	B	栄養教諭並びに学校栄養職員による、食に関する指導を進めた。「わたしたちが考えた給食献立」などの取組により、実際に経験をさせながら指導を行うことにより、子どもたちが一層食に関心を持つことができた。
	②地産地消の推進 関係部署並びに関係機関との共通理解を一層図ることにより、地産地消率の向上をめざす。	B	地産地消の取り組みは、各学校給食センターにより対応は異なるが、関係部署並びに生産者団体等関係機関と連携し、地元産の農産物をはじめとする県産農産物を積極的に活用した学校給食を提供することができた。
高梁市立学校給食センター再編事業 【学校教育課】	高梁市立学校給食センター再編検討委員会を組織し、平成24年4月からの市内4センターから3センター体制のあり方について検討を進める。	B	高梁市内4学校給食センターの再編を協議する高梁市立学校給食センター再編検討委員会を9名の委員で組織し、検討を重ね、成羽学校給食センターを廃止する提言をまとめた。これを受け、教育委員会会議の議決を経て、平成23年3月議会で可決された。

学識経験者の意見

- 就学前は、発達障害など一般の活発な子と見分けがつきにくい場合もあるので、医師や関係機関と連携して早期の対応に取り組むべきである。
- 幼稚園と保育園の連携強化は意欲的に取り組んでいるようであるが、国の動きが流動的であり、自己評価もあまりよくない。幼保小が連携を図り、小学校へ行くのに、全ての子どもが滑らかに接続できることが学力向上につながっていく。以前に比べて幼少期から、子どものことを皆で考えようという動きになっていると思う。

3 学校施設・設備の充実

(1) 学校施設・設備の充実を図ります

○施策の方向

- ・昭和 56 年以前に建設された園舎、校舎及び屋内運動場の耐震診断を行うとともに、耐震性に劣る校舎等については、計画的に耐震補強等の改修をします。
- ・老朽化したプールの改修、洋式トイレの増設、教室床改修等の学校設備の環境整備を行います。
- ・既存の太陽光発電システムを環境教育の教材として活用し、省エネルギー型の照明器具への交換等により光熱費の削減を図り、環境に配慮した施設とします。
- ・教育用パソコン等の教育情報システムをより安全で有効に活用するための環境整備を行います。

事業名	事業実施目標	評価	成果・課題等
校舎・屋内運動場耐震化事業 【学校教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・富家小学校屋内運動場耐震補強工事 ・成羽中学校屋内運動場耐震診断 ・川上中学校校舎・屋内運動場耐震診断 ・備中中学校校舎・屋内運動場耐震診断 ・落合幼稚園園舎耐震補強実施設計 	A	富家小学校屋内運動場耐震補強工事は完了した。また、成羽中学校屋内運動場、川上中学校校舎・屋内運動場及び備中中学校校舎・屋内運動場の耐震診断業務が完了した。さらに、落合幼稚園園舎耐震補強実施設計も完了し、耐震化事業を計画的に行うことができた。
安心安全な施設整備事業 【学校教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の点検（小学校、幼稚園） ・きめ細かな臨時交付金事業 小学校 20 校（プール塗装、屋体整備等） 中学校 7 校（教室床改修等） 高等学校 1 校（室内修繕等） 幼稚園 13 園（園内修繕工事等） 	B	<p>市内全幼稚園・小学校の遊具点検で劣化状況などの調査を行った。今後は点検結果に基づき修繕等を計画的に行う必要がある。</p> <p>施設改修では国の臨時交付金事業を活用し、小学校ではプール塗装や屋内運動場照明設備改修及び床塗装等、中学校では普通教室の床改修等、高等学校では建具や電気設備の改修等、幼稚園ではテラス屋根や強化ガラスへの改修などを行った。今後も計画的な施設改修を引き続き行う必要がある。</p>
学校の設備整備事業 【学校教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ネットワークシステム保守点検 ・緊急雇用創出事業 公立学校施設台帳図面電子化 公立学校施設環境美化 	A	<p>学校間での情報伝達、教育情報の共有等を行っている学校ネットワークシステムの適正な運用ができた。</p> <p>学校施設台帳等の建築図面を電子化し、データの保存性、検索性を高めるこ</p>

	公立学校施設情報環境整備	とができた。市内学校園の草刈り・庭木剪定等を行い校内環境美化に努めた。また、市内学校園の校内ネットワーク・ICT授業環境整備等を行い、教育環境の向上ができた。
--	--------------	---

学識経験者の意見

- 遊具の点検は、教育委員会として業者へ委託しているようであるが、実際に遊具を管理している学校で、定期的に点検をしていると思うが、さらに点検を徹底するよう指導が必要である。両面で点検していかないと、事故が起こるし、安心安全に子どもたちが遊具で遊ぶことはできないのではないか。
- 高梁市の耐震化はいち早く取り組まれ、耐震化率も向上し、安心安全が確保されている。

II 「生涯学習の機会の拡充と人権尊重意識の育成を進めます」

1 生涯学習社会の構築

(1) 生涯学習の振興を図ります

○施策の方向

- ・地域の特性や課題に応じた講座や研修会などの学習機会を提供し、地域社会への参加・参画を推進します。
- ・学習活動により自己実現を図り、学習成果を地域社会に生かす「学びの循環」を構築するとともに、社会教育団体等の活動支援やリーダーの育成を図ります。
- ・吉備国際大学をはじめ、地域の社会教育・福祉団体等と連携して、それぞれのライフステージに応じた学習を進めます。

事業名	事業実施目標	評価	成果・課題等
学校支援地域本部事業 【社会教育課】	地域全体で学校教育を支援する体制づくりを進めるとともに、住民の学習成果を地域社会に生かし、地域教育力の向上を図る。 (国委託事業) 継続：巨瀬地域（巨瀬小学校区） 新規：落合地域（落合小学校区・福地小学校区）	B	巨瀬・落合・福地小学校区で実施。地域住民が学校支援ボランティアとして参加し、児童との交流・支援活動の中で、自身の生きがいがづくりにつながる事ができた。また学校と地域の関わり合いが強くなり、地域の教育力向上につながった。
成人大学講座 【社会教育課】	高等教育機関である吉備国際大学と連携し、市民講座を開催し、学習機会の提供を図る。 ・吉備国際大学公開講座6回	B	吉備国際大学を会場に、テーマを「みんながいつでもどこでもできるNEW健康スポーツ」とし、全5回延べ206名参加した。毎回40名前後が参加し、定着している。
生涯学習推進大会等 【社会教育課】	地域での生涯学習大会など、地域の特性に応じた学習活動による成果の発表と研修会を実施する。	B	有漢地域では文化祭にあわせ記念講演会を開催。備中地域では人づくり講演会と題し、地域性を活かした学習活動意欲の向上を図った。

(2) 公民館活動の充実を図ります

○施策の方向

- ・地域の良さを再発見する「ふるさと学習」や地域伝統文化講座、地域課題に係る講座等地域理解を深める学習を支援します。
- ・生涯学習推進ネットワークの充実を図るため、地域のまちづくり・コミュニティ組織や地域団体と連携、協働していくとともに各公民館が連携を図ります。
- ・学習機会の提供とともに、世代間交流事業など学習成果を地域で活かす仕組みづくりを行います。

事業名	事業実施目標	評価	成果・課題等
公民館講座実施事業 【社会教育課】	中央公民館（1館）、地区公民館（14館）、分館（20館）で学習機会を提供するために、講座、研修会を実施するとともに、地域理解や協働推進、世代間交流等の事業を行う。	B	各公民館において、それぞれ地域の特性を活かした特色ある講座を開設し、世代を超えた地域住民の交流・学習活動を活発に実施できた。全公民館で約200講座（自主グループ含む）を開設し、幅広い学習活動を行なうことができた。

(3) 社会教育施設の充実を図ります

○施策の方向

- ・利用者の利便性を図るために、中央図書館と各図書館（図書室）、生涯学習施設等や他の教育機関とのネットワーク化を推進します。
- ・老朽化している社会教育施設は、誰もが安心して利用できるように整備し、学習意欲の向上を図ります。

事業名	事業実施目標	評価	成果・課題等
図書館ネットワーク事業 【高梁中央図書館】	高梁中央図書館の図書管理システムをリニューアルし、高梁市内の2館3室の図書資料情報等をシステム化してネットワークを構築する。	A	2館3室のネットワーク化により各館・室で全館の蔵書検索、貸出手続きが可能となり、貸出基準や貸出カードの統一化を図り、利用者の利便性が向上した。
成羽文化センターホール 新築工事 【社会教育課】	旧ホールの解体跡地に生涯学習の拠点としてイベント等ができる施設を新築する。 構造：鉄骨平屋造（研修室、会議室、子ども広場、その他）	A	会議室や、可動間仕切りにより4室に分けられる研修室などを備えた成羽文化センターホール（鉄骨平屋建、延べ面積 411.36 m ² ）の新築工事・備品整備を行なった。

(4) 青少年の健全育成を図ります

○施策の方向

- ・学校、家庭及び地域社会が連携し、社会全体で子どもを育てる機運の醸成を図ります。
- ・将来自立した社会人として豊かな生活を送るために、規範意識や豊かな感性等を身につける学習活動の充実を図ります。
- ・地域への愛着と誇りを深めるために、地域の自然や歴史、産業等の学習を推進します。
- ・青少年育成センターを拠点として、地域の青少年育成団体や学校等が連携して青少年健全育成に努めます。

事業名	事業実施目標	評価	成果・課題等
地域子育て創生事業 【社会教育課】	①これではっきり子育て応援講座 健康、食、家庭教育など子育てに関する様々な講座を実施する。 【健康講座（6回）、食の講座（14回）、家庭教育講座（20回）】	A	子育て支援に関する親子対象の講座実施や、多様な体験を通し、子どもの夢の広がりを応援する参加体験事業を行なった。 ①これではっきり！子育て応援講座 健康に関する講座（6回延べ113名） 食に関する講座（13回延べ285名） 家庭教育支援講座（20回延べ1,127名）
	②広がる子どもの夢事業 プロスポーツの体験や最先端科学技術の体験見学など本物に触れ体験する事業を行う。	A	②広がる子どもの夢事業 恐竜展「ダイノパーツラボ」（6/5～6/13／1,476名） 恐竜トークライブ（6/13／150名） 恐竜レプリカ色塗り体験（6/13／66名） マツダスタジアムへ行こう！（8/26／79名） 科学実験【子育てふれあいフェスティバル内で実施】（8/7／600名） 星をつかもう！天体観測ツアー（2/11／84名） 吹屋のまち体験ツアー（3/13／25名）
放課後子ども教室推進事業 【社会教育課】	放課後や週末に、安全・安心な居場所を設け、勉強や文化体験等の活動を通じて、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境を整備する。 ・うかん風の子放課後子ども教室（継続） 年間20日でスポーツ・文化体験	B	4教室でそれぞれ体験活動や学習支援を行った。参加者・保護者から好評を得ており、総合的な放課後対策の視点から学童保育との連携をさらに深めていく必要がある。 ・うかん風の子放課後子ども教室（20回延べ180名）

	<p>他を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なりわ子ども教室（継続） <p>年間 30 日で学習やスポーツ活動</p> <p>他を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かわかみ放課後子ども教室（継続） <p>年間 20 日で学習や工作、昔遊びなどを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・びっちゅう放課後子ども教室（新規） <p>年間 10 日で自然体験やスポーツ体験を実施</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・なりわ子ども教室（29 回延べ 315 名） ・かわかみ放課後子ども教室（14 回延べ 294 名） ・びっちゅう放課後子ども教室（10 回延べ 170 名）
<p>高梁魅力再発見事業</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>市内の児童が、郷土への愛着・理解を深めることを目的に、児童 40 名を募集し、夏休み期間中に市内学習スポットを 2 日間で巡る。</p>	B	<p>「高梁すきすき探検隊 2010」と題し、吉備国際大学と連携し、学生ボランティアスタッフの協力で、市史跡・観光スポットを 2 日間で巡った。</p> <p>見学・体験を通じ、「ふるさと高梁」の良さを、児童にとっては再発見し、大学生にとっては新発見でき、郷土に対する理解を深めた。</p>
<p>青少年育成センター運営事業</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>街頭補導、相談活動を行うとともに、関係機関や諸団体と連携し、青少年の非行防止に努め、青少年の健全育成を図る。</p>	B	<p>青少年の指導、育成、保護を計画的に実施し、休業中やイベントの際に補導を実施した。（補導実施人員延べ 281 人）</p>
<p>成人式運営事業</p> <p>【社会教育課】</p>	<p>社会人としての自覚を持ち、新成人として生き抜く決意の場として成人式を開催する。実施にあたっては、新成人で構成する実行委員会が企画運営し、それを支援する。</p>	B	<p>記念行事は、実行委員自らが企画・運営を行い、参加者全員を巻き込んだの参加型行事を行うことができ、大変好評であった。また、新成人から感謝の言葉を募集して「20歳のありがとう」冊子を作成し、成人祝賀式において配付した。（当日出席者 301 人）</p>

学識経験者の意見

<p>○各種講演や事業については、学習機会の充実が図られ参加者も増加している。さらに、推進していくためには、参加者の声を次回に反映させることが大切である。</p> <p>○昨年度は、イベント等への参加者の固定化や無関心な方へのPRなど周知、拡大への課題があったが、そういった課題に対して努力されており、参加者の新規増加につながっている。</p> <p>○恐竜展などは変わったイベントで子どもたちにとって、よい体験ができていると思う</p>

2 人権尊重社会の実現

(1) 人権が尊重される社会の実現に取り組みます

○施策の方向

- ・学校・家庭・地域社会・職場等さまざまな場で人権教育・啓発に取り組んでいきます。
- ・人権意識の高揚を図るために、講演会や研修会の開催、リーフレットの配布等を行うとともに、講師派遣や教材の貸出・提供等を行い、企業・学校・地域での自主的な学習を支援します。

事業名	事業実施目標	評価	成果・課題等
社会人権教育講座開設事業 【社会教育課】	①推進委員会の開催（年間3回）	B	「市人権教育啓発推進指針」に基づき、人権諸事業の具体的方策を協議した。また、研修視察では、山陽新聞本社を視察し、報道から見た人権について、理解を深めることができた。
	②指導者養成講座（人権問題学習講座6回）	B	延べ605名が受講し、内4回以上の受講者16名へ修了証を授与した。市内各地域から毎回100名前後の受講があり、事業として定着し、成果をあげている。
	③啓発に関わる諸事業 PTA人権教育研修会 子どものエンパワーメント育成事業 就学前人権教育研修会 人権啓発講演会 人権啓発リーフレットの作成・配布	B	各地で研修会を開催し、人権問題に関する認識を深めた。 ・PTA人権教育研修会（32単位PTA、延べ2,034人） ・子どものエンパワーメント育成事業（10校園、延べ459人） ・就学前人権教育推進事業（1回、52名） ・人権啓発講演会（幸坊治郎氏 約700名） また、啓発リーフレット「きずな」を全戸配布し啓発に努めた。企業等の人権啓発研修会講師として社会教育指導員を派遣（3回）し、啓発に努めた。啓発ビデオの貸出本数は6本であった。
男女共同参画社会づくり事業 【社会教育課】	男女共同参画強化月間である6月に、啓発講演会を開催する。（人権問題学習講座と兼ねる）	B	男女共同参画社会をめざし、一般市民、企業、公民館関係者、市職員等を対象とした講演会を開催し、意識の向上を図ることができた。（参加者180人）

学識経験者の意見

- 人権問題学習講座は非常によい取り組みである。定着し成果をあげている。
- 福島第一原発の放射能漏れ事故で、福島県民の方が、被爆者扱いされ差別を受けたことが報道されていた。そういったことも人権教育として取り組んでいくべきである。

Ⅲ 「地域の伝統や文化を維持向上します」

1 地域文化の振興

(1) 地域文化・芸術活動の振興を図ります

○施策の方向

- ・第25回国民文化祭「童謡フェスティバル in たかはし」「神楽フェスティバル」「漫画フェスティバル」を開催し、文化活動を通じて全国の人々と交流します。
- ・地域の文化・芸術諸団体の活動を支援するとともに、市民相互の連携を深めることで地域文化の創造と交流を推進します。また、芸術・文化を鑑賞する機会を提供します。
- ・郷土の歴史的人物の顕彰事業を行います。
- ・市民の文化への関心と学習意欲に応えるため文化講座等を開催するとともに、貴重な文化財等に触れる機会を提供します。

事業名	事業実施目標	評価	成果・課題等
第25回国民文化祭・おこやま2010の開催(会期:平成22年10月30日～11月7日) 【社会教育課】	〔高梁市主催事業〕 ①童謡フェスティバル in たかはし 11月7日(日)高梁総合文化会館	A	第25回国民文化祭・おこやま2010は、高梁市主催事業として3事業を開催し、岡山県内外から多くの方を迎え、文化を介しての流や情報発信を行った。 「童謡フェスティバル in たかはし」 内容:県内外から21の団体とゲストが出演し童謡のハーモニーを披露 入場者数:2,547人
	②神楽フェスティバル 10月31日(日)元成羽高校体育館	A	「神楽フェスティバル」 内容:全国9つの団体による神楽舞の競演 入場者数:フェスティバル1,956人 展示663人
	③漫画フェスティバル 10月30日(土)～11月7日(日) 吉備川上ふれあい漫画美術館、川上総合学習センター	A	「漫画フェスティバル」 内容:地球環境を守る環境漫画展、県内出身漫画家の色紙及び歴代吉備川上漫画グランプリ優秀作品の展示。大山のぶ代さんによる講演会、漫画ワークショップ、ドラえもん映画上映。 入場者数:フェスティバル830人 展示1,441人

文化活動の推進 【社会教育課】	①高梁市文学選奨の実施、入賞作品集「高梁の文学」の発行（小説随筆等、詩、短歌、俳句、川柳、童謡作詞）	C	第6回高梁市文学選奨は6部門で実施し、作品集「高梁の文学」を発行した。文学選奨は、市民の文学等創作活動の場として提供しているが、応募年齢層の拡大など、掘り起しが課題である。 平成22年応募総数:70点
	②高梁市文化連盟、各地域文化協会の活動支援	C	総合文化祭開催や芸術文化振興事業への業務委託、有漢などの文化協会の活動を支援するため補助金を交付した。各地域の文化協会への支援は継続するとともに、高梁市文化連盟における活動の統合等も行う必要がある。
歴史的人物顕彰事業 【社会教育課】	近代高梁の人物記念館（仮称）整備事業	C	近代高梁人物記念館（仮称）の耐震診断調査を行うとともに、近代高梁人物記念館（仮称）整備検討委員会の開催並びに施設の維持管理のため清掃、剪定を行った。耐震診断の結果、改築が必要となり、当初の整備計画に遅れが生じている。

(2) 文化施設の充実を図ります

○施策の方向

- ・総合文化会館、歴史美術館、成羽美術館、吉備川上ふれあい漫画美術館、景年記念館、郷土資料館等の文化施設では、市民ニーズに沿った事業や展覧会を行います。
- ・老朽化がみられる文化施設については、安全で快適な施設環境を整えるために設備の更新や改修を計画的に行います。

事業名	事業実施目標	評価	成果・課題等
高梁総合文化会館 自主文化事業 【文化センター】	①優秀文化芸術の鑑賞 レネゲイズ・スティール・ドラムコンサート（8/26） 松竹大歌舞伎公演（9/18） 音楽の絵本（11/28） 第22回映画を楽しむ会（2/5・6） ポピュラーコンサート（3/6）	B	文化芸術活動を発信する拠点施設として、中央の優秀芸術の招致、魅力ある文化芸術事業の推進に取り組み、誰もが音楽や演劇等を気軽に、身近に鑑賞できる機会をつくることのできた。 チケット販売等の事業収入拡大へ、より一層の努力が必要である。 ・レネゲイズ・スティール・ドラムコンサート 入場者数 267人

			<ul style="list-style-type: none"> ・松竹大歌舞伎公演 入場者数 1,037 人 ・音楽の絵本 入場者数 487 人 ・なつかしの優秀映画入場者数 146 人 ・谷村新司コンサート 入場者数 982 人
	<p>②地域の文化活動の推進と参加</p> <p>第 22 回三曲演奏会 (6/20)</p> <p>第 9 回文化講演会 (1/21)</p>	B	<p>市民参加型の自主事業として、市民に発表の場を提供し、文化芸術活動の推進や交流を促進するため次の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 22 回三曲演奏会 入場者数 450 人 ・第 9 回文化講演会「三遊亭円楽」 入場者数 689 人
<p>高梁市文化交流館 自主文化事業 【文化センター】</p>	<p>・サウンドフェスティバル in たかはし 2010 の開催</p>	C	<p>地域の若者に音楽活動発表の場を提供することにより、若者の交流の機会・創作活動の場を提供することができた。今後入場者数をさらに増やして行くことが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サウンドフェスティバル in たかはし 2010 入場者数 190 人
<p>高梁市歴史美術館 特別展等開催事業 【文化センター】</p>	<p>①企画展・特別展の開催</p> <p>歴史美術館収蔵品展 I</p> <p>「山田方谷とゆかりの人物展」 (4/10～6/27)</p> <p>企画展「景年書作展」(7/17～8/1)</p> <p>企画展「清水比庵展」(8/7～10/11)</p> <p>特別展「近世の私塾と教育」(10/23～11/23)</p> <p>企画展「アートの今・岡山 2010」 (12/11～12/26)</p> <p>歴史美術館収蔵品展 (1/15～2/13)</p> <p>特別展「高梁とたばこの文化」(2/19～3/21)</p>	B	<p>高梁市独自の文化・歴史を県内外に紹介した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「山田方谷とゆかりの人物展」 入場者数 747 人 ・企画展「景年書作展」 入場者数 99 人 ・特別展「歌人 清水比庵展」 入場者数 344 人 ・特別展「近世の私塾と教育」 入場者数 325 人 ・「アートの今・岡山 2010」 入場者数 230 人 ・「歴史美術館収蔵品展」 入場者数 249 人 ・特別展「高梁とたばこの文化」 入場者数 263 人
	<p>②文化財の保存</p> <p>美術品表装 (掛軸 8 幅、扁額^{てい} 4 幀)</p>	B	<p>扁額 (6 幀)及び掛軸(2 幅)屏風 (1 隻)の修繕及び仕立て直し</p>
<p>吉備川上ふれあい漫画美術館 マンガ文化のまち</p>	<p>・吉備川上漫画グランプリの実施 (募集期間：5/1～9/10)</p>	C	<p>事業参加者数は前年並みであり一定の成果があった。</p>

<p>づくり推進事業 【文化センター】</p>	<p>・漫・賀・年賀状コンテストの実施 (12月～)</p>	<p>・第20回吉備川上漫画グランプリ 「エコ(ECO)～住みよい地球に～」というテーマで募集し、全国から936点の作品が集まった。 審査員の確保が難しく、今年度が最後の漫画グランプリとなった。</p> <p>・夏休み！ワクワク手作り体験教室 夏休み期間中、毎週土・日曜日に実施。 全14回実施 参加者443名</p> <p>・第20回吉備川上漫画グランプリ優秀作品展 (10/30～11/28)</p> <p>・漫・賀・年賀状コンテスト2011 「卯(うさぎ)」というテーマで募集し全国から1,073点の作品が集まった。</p> <p>・漫・賀・年賀状コンテスト2011作品展示会 (1/18～2/27)</p> <p>・春休み！ワクワク手作り体験教室 春休み期間中に5日開催し122人の参加者があった。</p>
-----------------------------	------------------------------------	---

(3) 文化財の保護・保存と活用を図ります

○施策の方向

- ・文化財の適切な保存・管理に努め、調査・研究を継続的に行い活用を図ります。
- ・国指定重要文化財である備中松山城跡及び旧片山家住宅の保護・保存、整備をし、学術的な調査を進めるとともに、その活用を図ります。また、臥牛山全域の史跡指定について関係機関と協議していきます。
- ・「臥牛山のサル生息地」等天然記念物の適切な保護・管理に努めます。
- ・備中神楽や渡り拍子等の伝統芸能については、後世に伝え残していくために、保存会等への支援や顕彰事業に取り組みます。

事業名	事業実施目標	評価	成果・課題等
<p>文化財等の保存整備 【社会教育課】</p>	<p>①史跡備中松山城跡整備事業 (小松山城跡の石段補修、大松山城跡及び天神の丸跡の整備)</p>	<p>B</p>	<p>指定文化財の保護保存、整備については、今後においても継続的に推進する必要がある。</p>
	<p>②旧松山藩御茶屋修復事業</p>	<p>B</p>	<p>旧備中松山藩御茶屋修復整備に向けて確定測量を実施し、用地購入、基本設計、実施設計を行った。</p>

	③文化振興活動助成事業(方谷園開園100周年記念事業等)	B	文化振興基金を運用し、文化振興事業(5件)、文化振興活動助成事業として(3件)を実施した。また、まちづくりファンド ¹¹ の資金を活用した助成事業を実施した。 なお、これら事業内容等を審議するため、文化振興基金運営審議会を開催した。
文化財の調査・活用 【社会教育課】	①文化財保護審議会の運営等	B	文化財保護審議会を開催し、八重籬神社と八重籬神社六角御輿を市重要文化財に指定した。
	②天然記念物管理事業 (臥牛山のサル生息地の保護管理等)	B	天然記念物であるニホンザルの保護管理を行うとともに、ニホンザルへ発信機を装着し追尾を行い、猿害防止に努めた。また、天然記念物保護管理委員会(専門部会)を開催した。
伝統文化の伝承 【社会教育課】	①国橋まつり大神楽大会の開催 (4/25)	B	日名交流館において近郊の神楽師による国橋まつり大神楽大会を開催した。 入場者:1,000人
	②備中神楽、渡り拍子等の伝承活動支援	B	渡り拍子保存伝承団体、備中神楽伝承育成団体の活動を支援するため補助金を交付するとともに、備中神楽の研修会を実施した。 渡り拍子:25団体、備中神楽:9団体

¹¹ (財)民間都市開発推進機構から拠出された5,000万円と市民からの寄附金を活用して、市民活動団体が自主的に行うまちづくり活動に対して助成する資金。

(4) 歴史的町並み保存と景観形成の推進を図ります

○施策の方向

・吹屋伝統的建造物群保存地区については、計画的に家屋の整備に努めます。

事業名	事業実施目標	評価	成果・課題等
吹屋伝統的建造物群保存地区家屋保存事業 【社会教育課】	保存地区内家屋保存修理	B	伝建家屋の保存修理事業に補助金を交付し、吹屋伝統的建造物群保存地区の保存に努めるとともに、伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催した。 平成 22 年度保存修理家屋：1 件

学識経験者の意見

- 童謡フェスティバルなど継続して開催しているものが多く、地域の文化活動等へ十分に貢献できている。
- それぞれの地域の伝統を生かし、まちづくりができている。備中神楽など伝統文化を継承する活動の支援や地域の活動で、後継者も育っている。
- 地域の活動やイベントなどに興味を持っていただき、日本のために活躍できるような人材の発掘も必要ではないと思う。また、子どもたちがふるさとを知るだけでなく、いかに自分のものにして発展させるかが重要である。

IV 「スポーツの振興を図ります」

1 スポーツの振興

(1) スポーツの振興を図ります

○施策の方向

- ・スポーツ振興計画に基づき、スポーツの振興に取り組みます。
- ・体育協会等スポーツ関係団体の組織力の強化に努めます。
- ・地域の特色を活かし誰もが年齢や技術・興味・目的に応じてスポーツに親しむことができるよう総合型地域スポーツクラブを育成・支援します。
- ・体育指導委員のスポーツ指導の強化・充実に努め、子どもから高齢者まで年代に適したスポーツ・レクリエーション活動の振興を図り、市民の健康増進を進めます。
- ・大学、高校、中学校の連携を深め、相互の指導者育成や派遣等により、競技力の向上やスポーツの振興を図ります。
- ・各種スポーツ大会や教室、講習会を開催し、スポーツ少年団等の支援・育成を図ります。
- ・本市のスポーツ施設を活用したトップアスリートによる教室等の開催により、競技力の向上と競技人口の拡大をめざします。

事業名	事業実施目標	評価	成果・課題等
競技スポーツの開催 【スポーツ振興課】	軟式野球・ソフトボール・バドミントン・バレーボール・バスケットボール・卓球・柔道・剣道・弓道・陸上競技・ゴルフ・ゲートボール・グラウンドゴルフ等各種競技大会を開催し、競技力の向上と親睦を図る。	B	高梁市体育協会では、年間 107 大会を開催し、参加者数は延べ 8,747 人にのぼる。「各種競技スポーツ大会」には、多くの参加者が集い、競技力の向上と親睦を兼ねて成果が上がっていると考えられる。 体協各普及推進部においても、多くの競技大会が開催され、多くの参加者を得ることができた。 課題としては、それぞれの大会の自主的・自立的な運営にむけて、ますます努力していくことが求められる。
スポーツ講習会の開催（講師は全県レベル） 【スポーツ振興課】	ソフトテニス・ソフトボール等	B	○「講習会」 ・「バレーボール講習会」（140名） 岡山シーガルズ ・「少年野球教室」（235名） 倉敷オーシャンズ ・「ソフトテニス講習会」（80名） 吉備国際大学ソフトテニス部

		<p>・「サッカー講習会」(49名) ファジアーノ岡山</p> <p>各種スポーツ「講習会」においては、参加した市民の競技力向上、技術の習得に役立ったという点が一番の成果である。有名な選手の指導を受けたり、基本的な技術を教えてもらったりすることは、その競技をより理解し、スポーツを好きになる動機付けにもつながっている。</p> <p>課題としては、参加する側と、指導する側の日程調整が難しい点である。</p>
<p>スポーツ教室の開催(講師は市民、大学生) 【スポーツ振興課】</p>	<p>硬式テニス・ソフトテニス・卓球・水泳・陸上競技等</p>	<p>○「教室」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高年ニュースポーツ教室(4教室 138名) ・硬式テニスなど7種目にわたる「スポーツ教室」(232名) <p>課題として、参加者が固定化してくる傾向があり、新規参加者が少ないという点があげられる。広報活動を十分して参加者の掘り起こしを行う必要がある。</p> <p>○ジュニアスポーツスクール</p> <p>吉備国際大学との連携事業として、後期試験の終了時(2月中旬)にあわせ、柔道、剣道、バレーボール、フラッグフットボールの4教室の「ジュニアスポーツスクール」を開催し、総計82名の参加があった。</p> <p>大学の有能な選手とふれあう機会を提供するという本事業は、本市ならではの事業であり、人気も高く、今後も継続発展させていきたい。</p> <p>大学の試験終了をねらって行う活動のため、どうしても真夏、真冬の活動になるのが今後の課題である。</p>

<p>スポーツ・レクリエーションの推進と健康づくり</p> <p>【スポーツ振興課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体育指導員によるニュースポーツ教室の開催 ・体力診断教室の開催 ・ニュースポーツ大会の実施(備中) ・マラソン大会の開催(高梁・成羽) ・小学生ドッジボール大会の開催 	<p style="text-align: center;">B</p> <p>①地域の体育振興に体育指導委員が大きく寄与しているが、研修会・研究会、全体での体育行事への参加者が固定している。今後は体育指導委員の人員等を含め、そのあり方について検討が必要である。</p> <p>②健康づくりを目的に開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛らぶ高梁ふれあいマラソン大会(1,073名) ・なりわ健康マラソン(321名) ・高梁市ニュースポーツ大会(20名) ・有漢町球技大会(300名) ・成羽町民スポーツ祭グラウンドゴルフ大会(288名) ・川上町ソフトボール大会(150名) ・備中町グラウンドゴルフ大会(405名) <p>③各地域でスポーツ大会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象にした高梁市小学生ドッジボール大会(304名)
<p>スポーツ団体等への支援</p> <p>【スポーツ振興課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高梁コミュニティスポーツクラブ「ピオーネ」への支援 ・体育協会への支援 	<p style="text-align: center;">C</p> <p>平成20年3月30日に設立された総合型地域スポーツクラブ、たかはしコミュニティスポーツクラブ「ピオーネ」は、春秋の2回(ききょうグラウンド、高梁市民体育館)スポーツフェスティバルや各種教室を開催した。「ピオーネ」の登録者は、平成21年度93人、平成22年度は126人と増加しているが、まだまだ組織は脆弱で課題も多く、自主運営できるようにさらに助言や支援を継続して行く必要がある。</p> <p>高梁市体育協会は年間を通じて多くの大会行事を開催した。各競技団体によって、自主運営能力に差があるのが現状であり、今後は参加の各団体が自主的・自立的に準備・運営できるように支援していく必要がある。</p>

<p>スポーツ少年団の育成</p> <p>【スポーツ振興課】</p>	<p>・既存のスポーツ少年団の交流と育成を図る。</p>	<p>B</p>	<p>平成 22 年度のスポーツ少年団は 34 団体、団員数は 763 人と少子化の中でも大きな変化がない状況にあり、本市の特徴となっている。</p> <p>交歓大会を開催し、相互の交流を通じて活動の活性化を図った。</p> <p>また、スポーツ少年団の活動強化のため、各団体と協議を行いながら事業の展開も図った。</p>
------------------------------------	------------------------------	----------	---

(2) スポーツ施設の充実を図ります

○施策の方向

- ・神原スポーツ公園や有漢スポーツパーク・なりわ運動公園・高梁市民体育館等、市民のスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、施設の環境維持管理に努めます。
- ・施設の多くは老朽化が進んでいることから利便性や地域のバランス、施設の規模、必要性等を十分に考慮・検討しながら年次計画を策定し、改修・整備を行います。
- ・都市公園の長寿命化計画を策定します。

事業名	事業実施目標	評価	成果・課題等
<p>神原スポーツ公園整備(野球場・テニスコート)</p> <p>【スポーツ振興課】</p>	<p>スポーツふれあい交流事業により、整備する。</p>	<p>B</p>	<p>硬式野球に対応するため、防球ネット設置、塗装、芝生の敷設工事を行った。</p> <p>また、テニスコートの照明灯の塗装工事を行った。これにより、大学、高等学校、中学校、スポーツ少年団などの利用率も増加するものと思われ、競技力の向上に貢献できる。</p>
<p>都市公園長寿命化計画の策定</p> <p>【スポーツ振興課】</p>	<p>都市公園である高梁運動公園をはじめ、ききょう緑地公園やなりわ運動公園・高梁中央公園・正宗公園の5施設を対象に計画的な安全対策の強化及び改築や修繕費用の平準化を図る観点から策定する。</p>	<p>B</p>	<p>都市公園長寿命化計画の策定と公園費用対効果分析を行った。これを基に安全安心な施設の改修整備の検討を行った。</p>
<p>有漢農村公園多目的グラウンド整備事業(有漢町ふるさとづくり基金事業)</p>	<p>近年の利用者の増加や大会規模の大型化に対応するため、施設の増設を行うことにより利用者への利</p>	<p>A</p>	<p>補助グラウンドの機能向上を目指し、芝生の敷設を行った。これにより、スポーツパークのグラウンドゴルフ場を含</p>

【スポーツ振興課】	便性と施設の利用拡大を図る。		め、最大 1,000 人規模の大会誘致が可能となった。
体育施設の管理委託等について検討 【スポーツ振興課】	市内スポーツ競技の中心的役割を担う団体等への体育施設の管理運営について検討する。	C	体育施設の管理は施設により異なっており、市民サービスの上でも効率的、一元的、統一的な管理が望ましく、引き続き、管理運営のあり方を検討する。
各体育施設の維持管理と施設予約システムの構築のための研究 【スポーツ振興課】	各体育施設の維持管理と施設予約システムの構築のための研究を行う。	B	施設管理者の高齢化の問題も含め、抜本的な管理運営の検討が必要で、継続して協議を行う。 施設予約システムの研究成果は平成 23 年度 9 月運用とした。

(3) 広域的なスポーツ交流を推進します

○施策の方向

- ・国、県レベルの競技大会の誘致を行い、広域的なスポーツ交流をさらに推進することにより、市の活性化を図ります。
- ・スポーツふれあい交流事業等を実施し、スポーツ少年団等の支援を行います。
- ・施設を活用した交流人口の増加をめざし、高校や大学等の合宿などの誘致を進めます。

事業名	事業実施目標	評価	成果・課題等
スポーツふれあい交流事業(3 ライズ事業) 【スポーツ振興課】	子どもたちのニーズを基に各種スポーツ大会やトップアスリート等による教室・観戦を企画し、スポーツに親しむことから競技力の向上まで一貫した事業を展開する。 ①スポーツ講習会・教室の開催(講師はトップアスリート) 【サッカー】 ・湯郷ベル スプリングキャンプ in 高梁 (5/14～5/16 講習会 5/15) ・ファジアーノ岡山 サッカー講習会 (6/12) 【バレーボール】 ・岡山シーガルズ スプリングキャンプ in 高梁	A	子どもたちの夢と感動を支援する事業として、スポーツふれあい交流事業を実施した。 子どもたちのニーズを基に、スポーツに親しむことから競技力の向上まで一環した多岐にわたる事業を展開した。 本事業参加者は 16,000 人を超え、新総合計画の目標値である 13,000 人を初年度で達成し、新たな交流人口の掘り起こしができる。

	<p>(5/28～5/31 講習会 5/29)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Vプレミアリーグ高梁大会 (2/5) <p>【野球】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドリームベースボール in 高梁 (8/22) <p>【サッカー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3ライズリーグ・ルーキーリーグ ・トレセン ・吉備国際大学杯 <p>【野球】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平松政次旗学童軟式野球大会 (10/9～10/11) <p>②広がるこどもの夢事業 マツダスタジアム等見学体験ツアー (8/26)</p> <p>③吉備国際大学との連携 各種スポーツの指導やスポーツを通じて市民との交流を積極的に図る。(サッカー・野球・柔道等)</p>	
--	--	--

学識経験者の意見

<p>○人口減少の中で、スポーツ交流人口が増えていることはすばらしいことである。高梁市の平均寿命はわからないが、スポーツの様々な取り組みと体育施設の利用率等からみて、相乗効果があるのではないか。そういったことを数字で比較していくと、スポーツ交流人口の状況や健康との相乗効果など、一目でわかるようになるのではないか。高梁市のスポーツへの取り組みは、他市や他県にはないこういった効果があるということをPRできる。</p> <p>○スポーツで市内が活気づいているように感じている。</p> <p>○吉備国際大学との連携・交流は、子どもたちにとってもよい刺激になっているし、しっかり連携をとって活用していくべきである。</p>
